



令和4年10月24日

感染症に関する区の取り組みについて



令和4年10月24日

新型コロナワクチン接種について、オミクロン株対応ワクチンを使用した接種を進めています。また、新たに開始される乳幼児（生後6か月から4歳）への接種に必要な体制を確保します。

1 オミクロン株対応ワクチンについて

(1) オミクロン株対応ワクチンの接種率（10月21日時点）

対象者人口 (12歳以上)	接種者数	接種率 (12歳以上人口比)
832,535人	37,764人	4.5%

(2) ファイザー社ワクチンの切り替え

以下のとおり、使用するファイザー社ワクチンを BA.1 対応型から BA.4-5 対応型に切り替える。

集団接種	10月25日（火）に11会場を一斉切替
個別接種	10月下旬以降、準備の整った医療機関から順次切替

(3) 接種間隔短縮への対応

10月21日に、オミクロン株対応ワクチンの接種間隔が、前回接種から「3か月以上経過後」に短縮された（変更前は5か月以上経過後）。
区では、13か所の集団接種会場開設や接種券送付スケジュールの前倒し等、希望する方が速やかに接種を受けられるよう体制を確保する。

2 乳幼児（生後6か月から4歳）の接種について

・以下のとおり実施する。

接種見込者数	1,500人（生後6か月から4歳の乳幼児の人口約3万人の5%と想定）
接種の体制	医療機関での個別接種のみで実施（集団接種の実施なし）
開始時期	11月から接種を開始
接種券	11月末までに一斉発送予定（一斉発送前に接種を希望する方には、別途、申請により接種券の個別発行を受け付けている）

◎問合先 世田谷区新型コロナワクチンコール 電話：0120-136-652



令和4年10月24日

世田谷区では、令和4年度高齢者インフルエンザ予防接種を全額公費負担で実施します。

1 趣旨

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気で、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの症状が急速に現れ、あわせて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻水、咳などの症状も見られる。特に高齢者や免疫力の低下した人は、肺炎を起こすなど、重症化することもある。

区は、今秋以降の新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行を見据え、いずれも重症化リスクの高い高齢者に対し、季節性インフルエンザ定期予防接種の接種率向上を図るため、東京都からの補助金を活用し、令和4年度高齢者インフルエンザ定期予防接種を全額公費負担(自己負担無料)で実施する。

2 事業概要

(1) 実施期間

令和4年10月1日から令和5年1月31日

(2) 対象者

① 満65歳以上の者

② 満60歳以上65歳未満であって、心臓、腎臓、呼吸器の機能または免疫機能に障害がある方のうち、1級相当の身体障害者手帳をお持ちの方

(3) 個別発送

予防接種に必要な予診票やお知らせを、満65歳以上の対象者約19万件に送付
(令和4年9月下旬発送済み)

(4) 自己負担額

無料

◎問合先 世田谷保健所感染症対策課 電話：03-5432-2442



令和4年10月24日

世田谷区医師会および玉川医師会の協力による地域医療の強化とオンライン診療体制の確保支援を継続実施し、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行への備えを進めていきます。

1 地域医療の強化

(1) 世田谷区医師会

烏山総合支所内夜間診療所は、地下待合室の状況から換気が十分ではなく、インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行を見据えた場合、発熱患者等の診療、検査を行うには狭隘であることから、総合支所内会議室を活用し、インフルエンザ検査とPCR検査を実施する。

(2) 玉川医師会

発熱患者等の動線を切り分け検査を行うため、診療所付近駐車場に陰圧スペースを備えた検査車両を設置する。またこのことにより、診療所において、インフルエンザ検査と抗原定性検査を実施する。

2 地域医療の補完

医療機関によるオンライン診療体制の確保支援の延長
抗原定性検査キットや薬の配送、診療受付規模など、現在実施しているオンライン診療の体制を以下のとおり延長する。

＜現 行＞令和4年8月10日～令和4年10月末

＜延長後＞令和4年8月10日～令和4年12月上旬（予定）

※12月中旬以降については、改めて体制を整備（予定）

◎問合先 保健福祉政策部保健医療福祉推進課 電話：03-5432-2428